2025 年度 授業計画(シラバス)

学 科	作業療法士学科		科 目 区 分	専門基礎分野	授業の方法	講義
科 目 名	整形外科		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (2) 時間(単位)
対 象 学 年	昼間部2年		学 期	前期	教室名	802
担 当 教 員	小出 真也					
実務経験と その関連資格	<p>作業療法士として8年間回復期の病院にて勤務 その後佐野記念病院にて急性期・回復期・に加え訪問リハビリも経験。現在はハンドセラピィを中心に従事。 整形外科疾患は大腿骨近位部骨折や腰椎圧迫骨折、脊椎疾患を中心に100症例以上、手の外科疾患は300症例以上担当している。 日本ハンドセラピィ学会会員。 日本ハンドセラピィ学術集会にて学会発表を経験。</p>					
《授業科目における学習内容》						
骨、関節、靭帯、末梢神経など運動器疾患についての疫学、経過、合併症、治療などの概要を学習する。 整形外科の中から、国家試験に出題されやすい疾患などの傾向を学ぶ。						
《成績評価の方法と基準》						
定期試験(7割) 小テスト3回(3割)						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
標準作業療法学 整形外科 第5版 (医学書院)						
《授業外における学習方法》						
教科書を参考に予習・復習を行う						
《履修に当たっての留意点》						
毎回事前に教科書を読み、各分野で必要と思われる知識(特に解剖学や運動学)を自己学習しておくこと。						
授業の方法	内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容		
第1回	授業を通じての到達目標	骨折の分類や骨の治癒過程を理解する	教科書 (P127～148)	(予習課題) 事前に参考資料や解剖学の本を読んでおく。 ・骨折(折れ方)の分類 ・骨折の治癒過程、治癒期間		
	各コマにおける授業予定	骨折(基礎知識)				
第2回	授業を通じての到達目標	骨折部位における症状や特徴を理解する	教科書 (P127～148)	(予習課題) 事前に参考資料や解剖学の本を読んでおく。 ・骨、関節の名称(鎖骨・肋骨・脊椎・骨盤・上腕骨・肘など)		
	各コマにおける授業予定	骨折(橈骨遠位端骨折など、各部位の骨折について①)				
第3回	授業を通じての到達目標	骨折部位における症状や特徴を理解する	教科書 (P127～148)	(予習課題) 事前に参考資料や解剖学の本を読んでおく。 ・骨、関節の名称(大腿骨・下腿骨・足根骨・足趾など)		
	各コマにおける授業予定	骨折(大腿骨近位部骨折など、各部位の骨折について②)				
第4回	授業を通じての到達目標	脱臼・靭帯・腱損傷による生じる疾患を理解する	教科書 (P157～161) (P173～177)	(予習課題) 事前に参考資料や解剖学の本を読んでおく。 ・関節の構造について		
	各コマにおける授業予定	脱臼・腱・靭帯損傷				
第5回	授業を通じての到達目標	神経の構造、損傷による分類、腕神経損傷の病態を理解する	教科書 (P127～148)	(予習課題) 事前に参考資料や解剖学の本を読んでおく。 ・末梢神経の構造 ・末梢神経の種類、走行		
	各コマにおける授業予定	末梢神経損傷(神経の基礎知識・腕神経叢損傷など)				

授業の方法	内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	授業を通じての到達目標	末梢神経損傷や絞扼神経障害により生じる疾患を理解する	教科書 (P162～170)	(予習課題) 事前に参考資料や解剖学の本を読んでおく。 ・末梢神経の種類、走行
	各コマにおける授業予定	末梢神経損傷(絞扼神経障害など)		
第7回	授業を通じての到達目標	四肢の循環障害や骨端症における症状や特徴を理解する	教科書 (P90～96)	(予習課題) 事前に参考資料や解剖学の本を読んでおく。
	各コマにおける授業予定	循環障害・壊死性疾患(骨端症など)		
第8回	授業を通じての到達目標	脊椎の解剖学や脊椎疾患により伴う神経症状について理解する	教科書 (P111～124)	(予習課題) 事前に参考資料や解剖学の本を読んでおく。 ・脊椎の解剖
	各コマにおける授業予定	脊椎疾患(基礎知識・各疾患)		
第9回	授業を通じての到達目標	脊椎疾患により生じる疾患の症状や特徴を理解する	教科書 (P111～124)	(予習課題) 事前に参考資料や解剖学の本を読んでおく。 ・脊椎の解剖 ・脊椎疾患の種類
	各コマにおける授業予定	脊椎疾患(各疾患)		
第10回	授業を通じての到達目標	骨粗鬆症や変形性関節症に生じる疾患の症状や特徴を理解する	教科書 (P75～83)	(予習課題) 事前に参考資料や解剖学の本を読んでおく。 ・骨粗鬆症について ・膝の構造 ・股関節の構造
	各コマにおける授業予定	代謝内分泌・退行性疾患(骨粗鬆症・変形性関節症など)		
第11回	授業を通じての到達目標	切断に伴う合併症や義肢について理解する	教科書 (P192～200)	(予習課題) 事前に参考資料や解剖学の本を読んでおく。 ・切断の基礎知識
	各コマにおける授業予定	切断(基礎知識・装具・幻肢など)		
第12回	授業を通じての到達目標	スポーツ外傷における各疾患の症状や特徴を理解する	教科書 (P178～187)	(予習課題) 事前に参考資料や解剖学の本を読んでおく。 ・スポーツ外傷の種類
	各コマにおける授業予定	スポーツ外傷(各疾患)		
第13回	授業を通じての到達目標	関節リウマチなどの炎症性疾患の症状や特徴を理解する	教科書 (P61～P74)	(予習課題) 事前に参考資料や解剖学の本を読んでおく。 ・関節リウマチの症状
	各コマにおける授業予定	炎症性疾患(関節リウマチなど)		
第14回	授業を通じての到達目標	脊髄損傷における評価や合併症、疾患について理解する	教科書 (P149～161)	(予習課題) 事前に参考資料や解剖学の本を読んでおく。 ・脊髄損傷の分類 ・脊髄損傷の残存機能
	各コマにおける授業予定	脊髄損傷(基礎知識・合併症など)		
第15回	授業を通じての到達目標	熱傷やその他整形疾患の症状や特徴を理解する	教科書 (P188～191)	(予習課題) 事前に参考資料や解剖学の本を読んでおく。 ・熱傷の重症度など
	各コマにおける授業予定	熱傷(基礎知識) その他整形疾患		